

-PECC— APEC “Internet Economy”国際会議に参加して

早稲田大学教授 小尾敏夫

5月18日にフィリピンのボラカイ島で標記国際会議にスピーカーとして参加しました。ボラカイ島は日本では馴染みの少ない島ですがフィリピン政府はかなり熱心にアジアのトップクラスのビーチリゾートとしてPRしている島です。大半の観光客は韓国人ですが、中国人や東南アジアの旅行者も見かけます。ここで、APEC 上級事務レベル会議「SOM2」や観光委員会、人的資源委員会、e-コマース委員会などいろいろな担当委員会が会合を開きました。特に、マスコミを賑わせたのは貿易大臣会合で日本からは宮澤経産大臣が出席されました。5月18日はそういったいろいろなAPEC 会合の中で開催され、主催はPECCそして、後援はAPECなどでした。この会議に出席するにあたり、PECC 国際事務局からいろいろな資料が送られてきましたが、資料を読むにつれてインターネットエコノミー（以下IE）がPECCの重要な活動であることが身近に分かりました。

ロサリオ APEC・SOM 議長（フィリピン）の開会スピーチによると、APEC は昨年の北京サミットでIEの重要性を宣言に盛り込み、関係大臣たちにその具体的行動計画を検討するよう勧告していました。さらに2015年にIEの暫定実行委員会を立ち上げ、APECの関係委員会との協力で、この分野の将来方向性を導きだすよう指示しています。したがって、シンガポールのPECC 国際事務局は各国委員会に声をかけ、コアチームを編成しました。調整役はピーター・ラブロックTRDC委員長、そして私も日本PECC委員会の推薦で委員に就任したという経緯です。チームメンバーは10人くらいで編成され、産官学の代表者が集まる形になっており、11月のAPECマニラ・サミットまでに提言をまとめるよう、事務総長のペドロサ氏から連絡が来ました。

当日のシンポジウムは100人前後の傍聴者を有して、かなり活発なプレゼンと質疑応答が行われました。シンポジウム自体は3分野に分かれ、具体的なケーススタディ、問題点の検討、今後の活動方向性といったテーマに沿って進行されました。私は第1部の議論であるテーマごとのIE具体例を紹介するセッションでスピーチしました。日本のヘルスケアの事例を挙げ、高齢社会における医療・健康・介護の重要性とその解決策としてのICTの利活用を紹介したわけです。御存知のように日本は世界一の超高齢社会であり日本で起きていることが近い将来どのAPECエコノミーでも起こりえるわけで参加者も関心はかなり高かったと周りの人が伝えてくれました。

私以外では、I Eの事例として、経済界からは若手ベンチャーで成功したベトナムの企業家のモバイル決済のプレゼンがあり、また教育分野ではフィリピンの遠隔教育や初等教育からのネット利用等が紹介されました。加えてシンガポールのタクシー会社がインターネットを活用しての予約や渋滞情報の確認、などヘルスケア、教育、貿易、金融、モビリティ各方面の事例をもとにI Eの重要性を議論した次第です。事務総長であるペドロサ氏によれば、ラジオが5000万人まで普及するのに38年かかったが、インターネットの普及は4年で到達している。現在は100億個のインターネット端末が国民生活に浸透し、I Eの活動を理解せずに経済成長はあり得ないとの指摘です。

また、他のスピーカーからは昨年来このI E分野が脚光を浴びているが、法律や規制の問題が各国にあり、国境を越えたスタンダードも未確立であるなどイノベーションが先行し、ルールが後追いしているのが現状でギャップを早く埋めるべきとの指摘もありました。

今後の方向性として、現在APECが取り組んでいる各委員会でのインターネット活動はマルチステークホルダーという段階に入り、縦割りから協調するチーム作りが必要であるとの意見も出され、会場から賛同のコメントも多数ありました。

PECCも昨年来、シンガポール等でI E会議を開催し、重要性の認識を深めており、今後活動のコアとして推進していくことが確認されました。特に注目すべきは、中小企業がインターネットの利活用を国際市場で成功している事例が増加しており、中小企業のイノベーションを応援する機能をAPECが強化することを要望された点です。現在APECでは、IE分野の統合化活動を目指してe-コマース、経済委員会、情報通信委員会の代表を一同に集める仕組みづくりを検討しており、今回のシンポジウムがその一端を担ったとPECC国際事務局は成果をアピールしております。

今後、PECCはABACと協力して、民間側のタスクフォースを策定し、APECに対して有益な助言をしていくことを総括として盛り込んでいます。私も今回のボラカイ会議を通して、APEC及び情報社会におけるPECCの役割を再認識した次第です。

以上